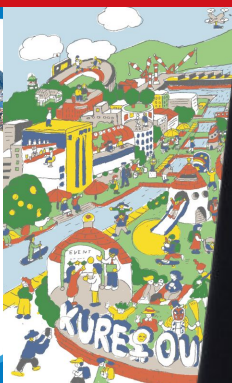




呉の未来を 止めるな！

新原よしあけ 8年間の実績まとめ



もくじ

- 3つのVISION 03
- 子育て・教育分野 04
- 都市基盤分野 18
- 市民生活分野 32
- 産業分野 47
- 日本製鉄跡地に関する対応実績 58

新原よしあけ がこれからも、
市民の皆様と共に実現していきたい「3つのVISION」

3つのVISION

VISION 1 自然と調和した未来志向の「イキイキした呉」を築く

呉の財産である山・川・海、そして温暖な気候の下での未来志向のライフスタイル。
そこでの生活が新しい日本のモデルとなるまち、イキイキと働き、ワクワクと暮らすことのできるまちをつくります。

VISION 2 女性と若者のチャレンジを支援し、時代を先取る産業を創る

子育てしやすくするとともに、多様な夢に向かって挑戦する女性や若者をしっかりと支えます。
中小企業、女性、若者の創意工夫で時代を先取りする産業を創造できる環境を整えます。

VISION 3 世界に自慢できる交流都市へ発展させる

日本製鉄跡地の活性化、呉駅南側を含む周辺の開発などを進めます。呉の歴史と文化、海を活かし、呉の魅力、市民の誇りを更に高めます。教育・研究の国際拠点として世界とつながるまち、観光のまちへと発展させます。

子育て・教育分野

安心して子育て・教育ができる環境づくり



子育て・教育分野でやったこと

■ 妊娠・出産・子育て支援

- ・市内居住の18歳以下の全ての子供たちの医療費を助成
- ・「体調不良児対応型施設」を整備
- ・「病後児保育」対応の施設を追加整備
- ・全ての児童が参加できる放課後子供教室を開設
- ・「こども誰でも通園制度」を実施

■ 学校教育

- ・全ての呉市立学校の耐震化完了
- ・2025年4月、呉市の市立学校で温かい給食の提供開始
- ・天応に9年生の義務教育学校を新設開校
- ・不登校等児童生徒の居場所となる教室やサポーターを設置
- ・学校のトイレ洋式化（洋式化率：2016年 30%未満 → 2025年度 91.4%見込み）
- ・学校へ空調を設置

など

● 市内居住の18歳以下の全ての子供たちの医療費を助成

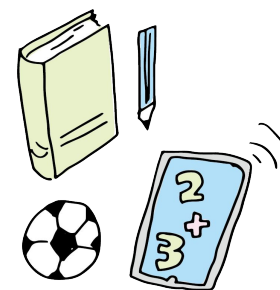
県内
トップクラス

呉市では、中学生までが対象だった「こどもの医療費助成制度」を、
2023年10月1日から高校生（18歳になった後 最初の3月31日まで）まで拡大

対象の方は、1医療機関につき、1日あたり500円で受診することが可能です
また、これを機に 所得による制限もなくなしました

＜対象の方＞

- 呉市に住民登録がある
- 国民健康保険、各種社会保険等に参加している



●「体調不良児対応型施設」を整備

保育園などで急にこどもが微熱を出すなど

体調が悪くなった子供を **保護者が迎えに来るまでの間、**
一時的に預かる ことのできる

「体調不良児対応型施設」を整備

預かる以外にも、保健に関する相談支援を行っています

呉市で対応している施設は **現在22か所**

共働きや核家族化が進む現代社会において、
保護者を支え、子どもの安全と安心を守るために
不可欠な事業です

＜実施施設（2025年7月時点）＞

地区	施設名
①中央・宮原・警固屋	呉聖園マリア園 嶺南荘保育所 ししん 呉第一こども園 川原石こども園 西方寺こども園 なべ保育園 呉市中央乳児保育所
②天応・吉浦	よしうら だいしん 天応めぐみ園
③阿賀・広・仁方・郷原	延崎保育園 わかば幼稚園 しろはと 名田保育園 徳風保育園 郷原保育所
④川尻・安浦	認定こども園かがやき 呉市安浦中央保育所
⑤昭和	宮ヶ迫保育園 桜ヶ丘幼稚園 明和保育園

●「病後児保育」対応の施設を追加整備

病児・病後児を、**病院などで一時的に預かる** ことができる施設を **無料化**

2025年度中には追加で2か所開設 予定

児童の安心・安全はもちろん、保護者の子育てと就労の両立支援として、
病気又は、回復期にある児童を一時的にお預かりする事業です

2024年には、**スマホ予約が可能** な「**あずかるこちゃん**」がリリース
子育て世代を支える施策 を進めています

<施設概要>

利用可能時間: 月～土 8時～18時

利用対象者: 呉市内の保育所(園)

幼稚園/小学校(6年生まで)に通っている児童利用

料 金: **無料**(呉市在住の方)



● 全ての児童が参加できる放課後子供教室を開設

放課後を身近な場所で安全・安心に過ごし、
たくさんの体験・活動をすることができる居場所として、
小学校の施設を利用した「放課後児童会」と「放課後子供教室」の一体化事業を開始

希望するすべての児童が参加 できる事業で、
2023年から3年間、両城小学校・蒲刈小学校で実証実験を行い、
2026年には、実施校を拡大する予定

<事業概要>

対 象：希望するすべての児童（実施校のみ）

利用日時：週2回 17:00まで



●「こども誰でも通園制度」を開始

生後6か月から2歳児までの全ての子供が

親の就労状況に関わらず 保育所等を利用できる制度を 先行実施

保育所などを月に一度、決まった時間(10時間/月)を利用でき、
集団生活を通じて、こどもの成長を促す制度です

＜対象の方＞

- 呉市に住民登録がある
- 生後6か月～2歳
- 保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業所、
企業主導型保育事業所などに通っていない

利用料金：一時間 300円



● 全ての呉市立学校の耐震化完了

着任してからスピード感を持って対応を行い、
2024年度をもって、呉市立学校の耐震化はすべて完了 となりました

耐震性がないことから解体することとなった
宮原小学校、港町小学校の 2校に関しては、現在新校舎を建設中

また、耐震化の他にも 学校施設の長寿命化 、
時代に合わせた教育環境の整備 を目指し、中長期的な計画も策定

全ての子どもたちの安心・安全をこれからも守っていきます。



●学校のトイレ洋式化を実施

計画的に学校トイレの改修を行っており、**2025年度には、洋式化率 91.4%見込み**です。

※ 2016年時点での洋式化率：30%未満

和式トイレの需要もあるため、原則和式トイレ 1基を残し、
その他全てを洋式化する方針。

対象となるトイレによっては、新たに設計や改造が必要な場合がありますが、
計画どおりに進行中です。

児童・生徒が快適に利用できるよう、
できる限り学校の意見を反映させて進めていきます。



●学校へ空調を設置

2024年、一部使用していない特別教室をのぞいて、
呉市立の **全小中高の学校** に空調設置が完了

また今年度より新規事業として、
学校体育館の空調整備に向けた設計を開始 しました

こどもが **安心・安全に教育を受ける** ことができる環境を整備していきます



● 2025年4月、呉市の市立学校で温かい給食の提供開始

2025年度より、すべての中学校で温かい給食 が食べられるようになりました

元々小学校と一部の中学校は温かい給食でしたが、
「すべての中学校をそうしてほしい！」とご要望をいただき、
設備の用意を含め、2023年からできるだけ早く そして低コストで導入を進めました。

みんなが同じものを食べることで、食育に繋げたい。
忙しい保護者の負担をへらしたい、という想いで実現した事業です。

カレーやシチューのルウ、ドレッシングは手作りで、
和風の汁は出汁をとっており、自慢の手作り給食です！



●天応に9年生の義務教育学校を新設開校

2019年7月豪雨で災害にあった天応地区の学校を、
2023年4月、9年生の義務教育学校として新設開校

小学校から中学校までの教育を一貫して行う、**呉市初の義務教育学校**です。
防災機能が強化され、**復興のシンボル**にもなっています。



呉市立天応学園HPより引用



●不登校等児童生徒の居場所となる教室やサポーターを設置

不登校等児童生徒の安全・安心な居場所づくりと支援を行うため、

小中学校に校内SSR(スペシャルサポートルーム)を設置

※2019年 2校 → 2024年 8校 → 2025年 19校へ大幅に拡充

設置校には、**専属のサポーターも配置**しており、様々な支援を実施。

今後もさらなる支援強化に向け、**全校での設置拡大**を検討しています。

＜設置校(計: 19校)＞

小学校: 白岳、横路、荘山田、呉中央、昭和北、波多見(7校)

中学校: 仁方、白岳、広中央、横路、阿賀、和庄、片山

呉中央、吉浦、昭和、昭和北、音戸(12校)



子育て・教育分野 今後の取り組み

- 少子化対策として、子育て世代への負担軽減

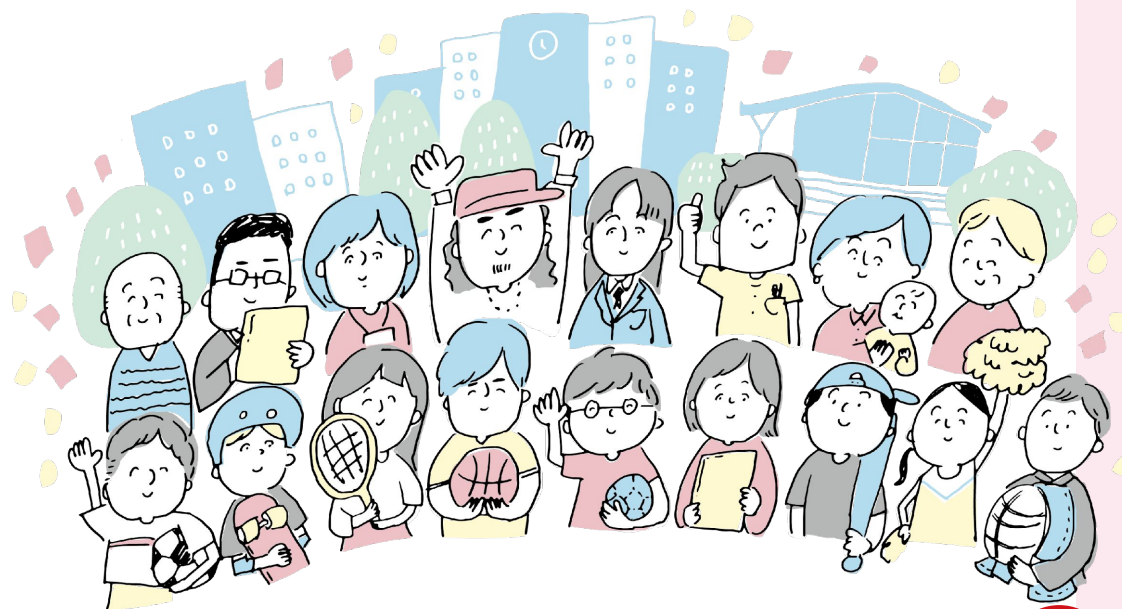
あらゆる対策を健全財政に配慮しつつ、適切に実施

- 未来を拓く教育を実現できるまちへ

- ・ 体育館への空調設置を始めとした、学校施設の整備
- ・ 中高一貫校の設立など、魅力ある中高教育
- ・ 最先端教育などの学校教育の充実

- こどもが中心となるまちへ

- ・ こどもまんなか社会の推進
- ・ 妊娠から子育てまでの切れ目のないサポートと経済支援
- ・ 子育てと仕事の両立を支援
- ・ 子育て世代の移住・定住を支援



都市基盤分野

災害につよく、安全に暮らせるまちの整備



都市基盤分野でやったこと

■ 安心して住み続けられるまちづくり

- ・呉駅周辺の開発工事進展
- ・呉まちなか公共空間デザイン計画を策定

■ 移動しやすい交通環境

- ・2025年3月「呉市地域公共交通計画」を策定
- ・次世代モビリティの導入を見据えた交通社会実験を実施
- ・JR安芸川尻駅周辺バリアフリー化の事業着手

■ 道路

- ・幹線道路の整備

■ 港湾機能

- ・貨物船の定期航路誘致に向けた阿賀マリノポリスの受入環境を整備

■ 上下水道

- ・JR広駅前を中心とした大雨による浸水対策を実施

●呉駅周辺の開発工事進展

国の直轄事業として当初予算 80億円から
約210億円に予算拡大した事業

新しい交通ターミナル や2階のデッキ広場の整備 により、
車両と歩行者を分離した安全で快適な空間 になります

また、バスターミナルの他にも、
商業施設やオフィス、マンション、
子育て支援センター、アーバンデザインセンターなどの
様々な機能を持つ複合施設を建設 予定

交通が便利 になるだけでなく、地域の賑わい が生まれ、
防災にも強い拠点 になります

＜2025年8月末時点の呉駅前＞



● 呉駅周辺の開発工事進展

＜完成イメージ＞



●「呉まちなか公共空間デザイン計画」の策定

堺川周辺エリアを 居心地がよく、歩きたくなるウォーカブルなまちなか にする
「呉まちなか公共空間デザイン計画」を策定

公園などの公共空間を活用し、
駅前、商店街、ベイエリアと連携した
賑わいづくりを実施します。



未来ビジョン～未来への想い～



●呉駅周辺の開発を起点とした 今後の展望

・呉駅バスタプロジェクトの 完成（複合施設 2027年4月完成予定）

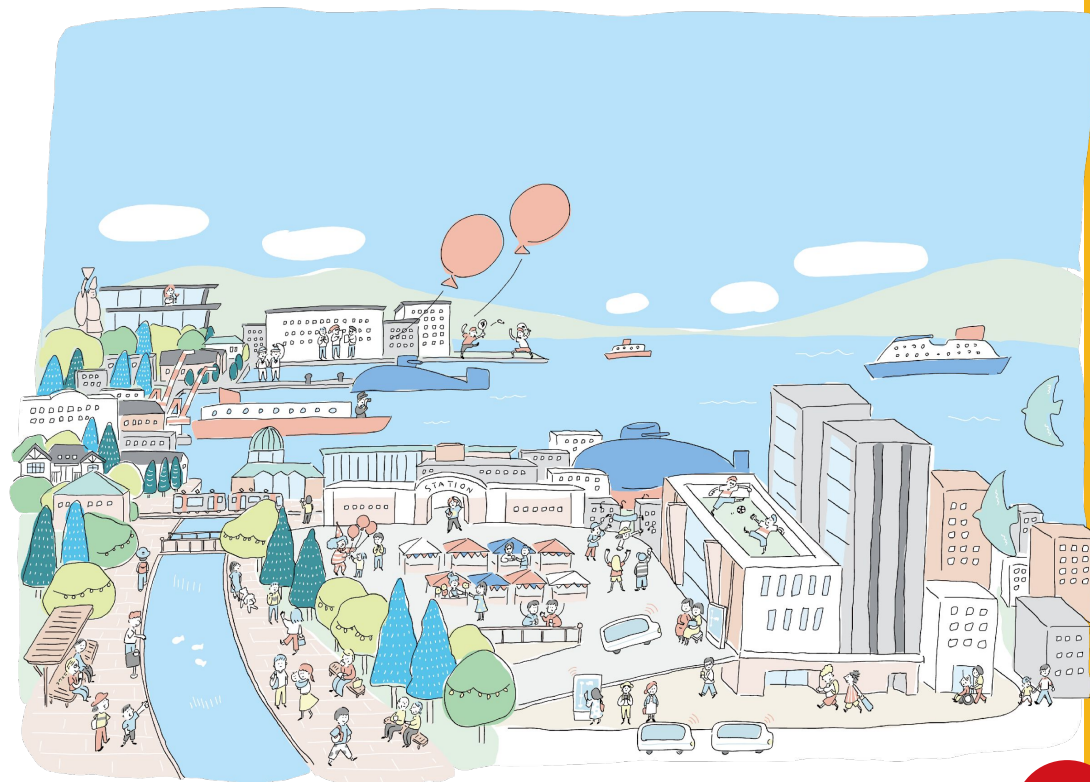
・呉市全体を 最先端のまち へ

・次の二期開発として

呉駅南側を再開発

・呉駅から港や商店街に向けて

人が行き交う まちへ！



●2025年3月「呉市地域公共交通計画」を策定

新原市政
加速化

呉市の **持続可能な地域の交通運営** と **維持** を行うための
計画を策定 しました

＜目指す姿＞

- ・通学、通院、買物など **生活に欠かせない移動を支える**
交通サービスの確保
- ・広島市など **周辺都市と行き来しやすく**、連携のとれた交通へ
- ・コンパクト＋ネットワーク型の **誰もが快適に移動できる** 環境づくり
- ・**自家用車から公共交通への転換** を促し、**環境にやさしい社会** を目指す
- ・**運転が困難な人も安心** して暮らせる交通、持続可能で
安定した交通の確保
- ・限られた財政の中で、**効率的かつ継続可能な交通サービス** の提供



● 次世代モビリティの導入を見据えた交通社会実験を実施

持続可能な交通ネットワークの整備の一環として、
呉市では、**自動運転車両などの次世代モビリティの導入**を見据え、
継続した実証実験をおこなっています。

呉市の将来の交通計画において、
重要な柱の1つになっています。

※ 次世代モビリティとは ...

- ・ **AIや情報通信技術を活用**した交通サービス
- ・ **電気**で動き、**自動で運行**が可能
- ・ 環境にやさしい



● JR安芸川尻駅周辺バリアフリー化の事業着手

高齢の方や、障害のある方のスムーズな移動をはかるため

呉市は「**バリアフリー基本計画**」を2022年12月に作成し **事業化を決定**

これまでもJR安芸川尻駅では、

視覚障害者のための点字ブロックを設置し

障がいを持たれた方にやさしい施策が進められています。

今後、呉市がJR安芸川尻駅周辺の用地取得を実施し、
駅のバリアフリー化を行う予定です。



● 幹線道路の整備(呉平谷線)

現在は、橋りょうの工事を進行中



● 幹線道路の整備(クリアライン四車線化)

- ・4車線化により、
片方の車線が残ることで、
鉄道と国道が止まらないように。
- ・追い越しが可能となるため、
広島までの移動が速くなります！



呉トンネル(呉IC側) 完成イメージ



● 幹線道路の整備（広道路の拡幅）

- 広駅近くで道路の拡幅工事 を順次実施中
- 今後も 順次道路を拡幅していく予定（今年度中に次の拡幅道路を選定予定）

横路1丁目白石線の拡幅（今年度完成予定）



大新開吉松線（完成）



● JR広駅前を中心とした大雨による浸水対策を実施

JR広駅を中心とした広東地区等における
浸水被害の発生頻度や被害の軽減を図るため、**雨水の浸水対策を実施**

2018年には**洪水ハザードマップ**を作成

さらに2021年には、過去10年間に発生した大雨災害による
広地区の浸水被害について地図にまとめた「**呉市内水被害概略図**」を作成
市民の皆様には洪水ハザードマップと併せて利用して頂き、
日頃からの備えと対策をお願いします！



●貨物船の定期航路誘致に向けた阿賀マリノポリスの整備

県内
初

呉市では 県内で初の貨物船（RORO船）の定期航路誘致を進めています

呉市にとって港湾は、地域の産業を支える重要な基盤です

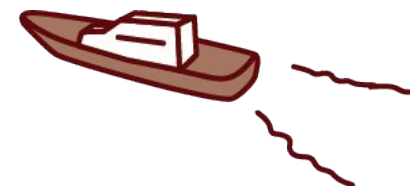
＜定期航路の誘致によるねらい＞

- ・物流の効率化と安定化
- ・地域経済の活性化
 - 市内の中小企業の 産業振興／雇用機会の創出
- ・災害時の物流ネットワークを維持

※RORO船：貨物を積んだトラックや荷台ごと輸送する船舶。

トラック輸送に比べて、1回の輸送で大量輸送が可能。

トラックドライバー不足の解消や環境保護に貢献



都市基盤分野 今後の取り組み

■ 安全で快適に暮らせるまちへ

- ・市内全域に持続可能で便利な交通環境を整備
- ・災害に強いまちを目指したクリアライン四車線化の完成、同じく呉平谷線の早期完成

■ 賑わい溢れるまちづくり

- ・呉バスタプロジェクトの完成
- ・そごう跡地ビルを最先端技術で生まれ変わらせ、呉市全体をスマートシティへ
- ・呉駅南側の再開発
- ・中央公園の再整備と商店街の賑わい創出によるウォーカブルなまちへ
- ・便利で利用しやすいJR呉線の実現

■ 豊かな自然に恵まれるまちへ

- ・環境への負担を減らす循環型社会へ
- ・専門家と連携して効率的な有害鳥獣対策を拡げる
- ・いのち溢れる恵みの海へ転換させる

市民生活分野

イキイキ・ワクワク暮らせるまちを築く



市民生活分野でやったこと

■ 防災・減災に向けた体制

- ・災害の教訓を継承する取り組みを実施

■ 市民協働と多文化共生

- ・安芸灘大橋利用助成の拡大
- ・「地域パートナーシップ支援事業」の実施

■ 国内外との多様な交流機会

- ・「呉ご当地キャラ祭」の開催

■ 文化振興

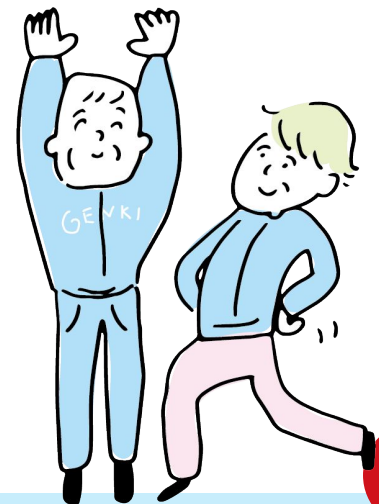
- ・「呉市文化財保存活用地域計画」の策定

■ スポーツ振興

- ・スポーツ施設の再整備
- ・アーバンスポーツ施設整備の決定

■ 市民への暮らしの充実

- ・市内全域の光回線の整備完了
- ・呉市情報コミュニケーション条例 / 呉市手話言語条例を制定
- ・合葬墓の整備完了
- ・きめ細かい福祉の充実(重層的支援推進室の設置)



●災害の教訓を継承する取り組みを実施

2019年7月豪雨災害の教訓や記憶を風化させないため、
次世代に継承するための取組 を実施

＜取り組みの事例＞

- ・被災状況や復興状況等がわかるウェブサイト「呉市復興ミュージアム」の構築
- ・主な被災箇所等への説明板の設置
- ・災害の教訓や記憶を継承する場 として、
いなしふれあい広場(安浦地区)、天応西条公園を整備

いなしふれあい広場、天応西条公園は、
平常時には地域の交流や憩いの場 として活用され、
緊急時には一時避難所 としても活用ができます。



● 安芸灘大橋利用助成の拡大

安芸灘大橋通行料が無料になるまでの間、 奨励金を交付し
観光客の呼び込み や、高校生等の定着 と他の地域からの移住 を促進

▶住民向け

- ・安芸灘地域に高校生等が居住し、その高校生等を養育する保護者に対し
高校生等1人あたり1か月2万円を交付
- ・子育て世帯に加え、母子手帳の交付を受けた出産予定者や 29歳以下の若者がいる
世帯を対象に通行券つづり 1冊につき1万円を助成

▶観光客向け

安芸灘大橋を現金で通行し、指定施設にて 1,000円以上買い物した場合に、
帰りの安芸灘大橋有料道路通行券を交付

など

●「地域パートナーシップ支援事業」の実施

地域の人たちの「まちづくり活動」を応援 するため、

2023年より補助金を交付 する事業を開始

初年度は最大 50万円、2年目以降は対象経費の 1/2(最大25万円)が補助され、
最長で3年度まで継続 が可能です。

毎年募集をおこなっており、厳正な審査の上、多くの事業が採択されています。

これからも地域の課題解決や、活力を高める事業のサポートをおこなっていきます。

＜交付実績＞

2023年：採択16件

2024年：採択19件

2025年：採択22件



●呉ご当地キャラ祭の開催

中国地方

初

災害から復興に向かって進んでいる元気な呉をPRするため、

「呉ご当地キャラ祭」を開催（今年で7回目）

動員人数は毎年 約2万人、たくさんの方が呉にお越しになっています！

開催のきっかけは、2018年7月豪雨災害で被災した際、

これまで縁のあった全国のご当地キャラクターが

呉市を応援してくれたことでした。

呉市民が楽しめるイベントを開催することで、 地域が元気 になり

まちの発信力 につながっています！



「呉市文化財保存活用地域計画」の策定

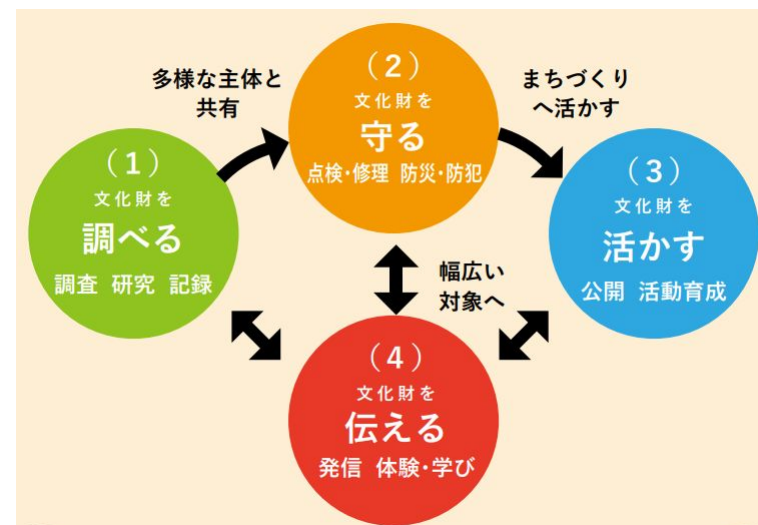
県内
トップクラス

呉市の歴史的な文化財の保存・活用を推進する計画 を策定

文化財の保存・活用に関して、市が目指す将来的なビジョン や
具体的な事業等の実施計画 を定めるものです。



また、大切な文化財を継続的に守り、
次の世代へ継承していくため、
地域住民と一体となって 文化財の保存と活用を
進めるまちづくり を目指します。



●スポーツ施設の再整備

呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換に伴う、スポーツ施設の再整備を推進

施設名	現施設利用期限	新施設完成予定	移転・再配置候補地(案)
陸上競技場	令和10年3月	令和10年3月	入船山公園多目的広場
多目的グラウンド (サッカー等)	令和7年3月	令和9年3月	広多賀谷緑地
野球場	令和7年8月	令和9年3月	広多賀谷緑地
テニスコート	令和11年10月	令和11年10月	野外活動センター
弓道場	令和11年10月	令和11年10月	野外活動センター
入船山公園多目的広場 代替地(ソフトボール等)	令和8年3月	令和8年3月	虹村公園 他

※広多賀谷緑地に整備予定の多目的グラウンド(サッカー等)・野球場については、令和8年3月の完成予定でしたが、土壌汚染対策等のため1年程度完成が遅れる見通しです。



●アーバンスポーツ施設の整備計画を策定

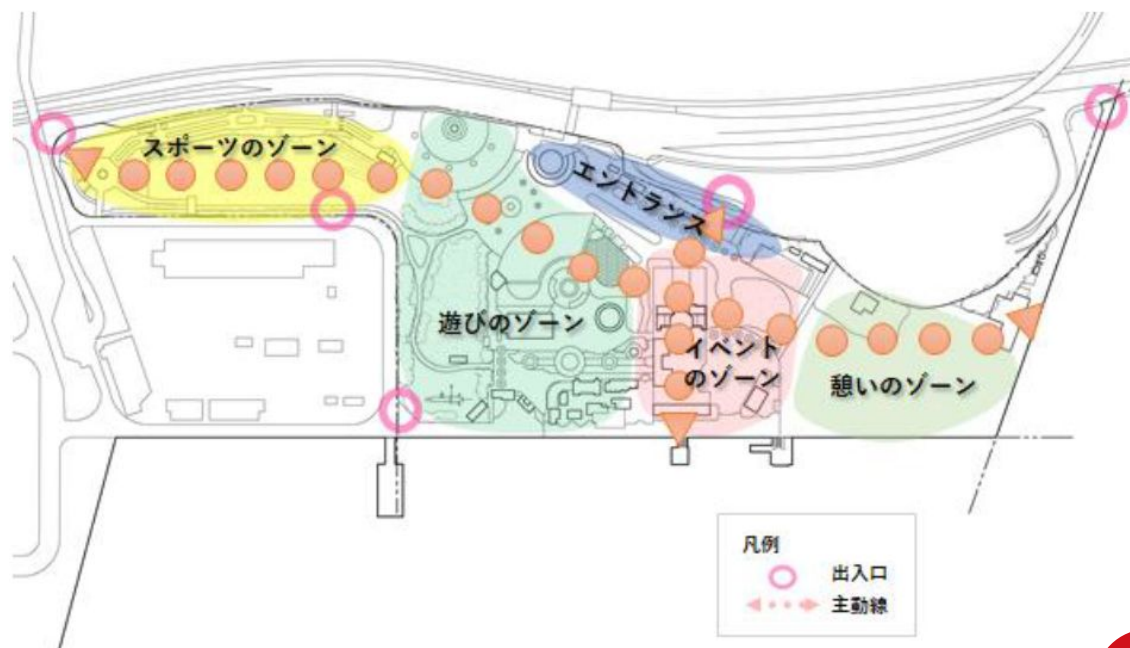
呉ポートピアパークおよび天応公園にて

アーバンスポーツ施設の新設を含む再整備計画 を策定

遊び(カルチャー)の要素を併せ持つアーバンスポーツを通じて、
子供や若者の居場所・コミュニティを作ることとしています。

〈アーバンスポーツとは〉

- ・スケートボード
- ・BMX
- ・ブレイキン(ダンス)
- ・3×3バスケットボール 他



●市内全域の光回線の整備完了

2022年2月、市内全域への光回線整備が完了



これまで民間業者によるサービスが提供されていなかった、
安芸灘4島や倉橋地区等でも利用が可能 になりました。

これにより、コンビニで住民票が取れる、
さらに市内のまちづくりセンター 23ヶ所でWi-Fiが利用できるなど
住民の利便性向上に繋がっています。



●呉市情報コミュニケーション条例 / 呉市手話言語条例を制定

障害の有無に関わらず、

互いに理解し合い、安心して暮らし、交流できるまちの実現のため、

「呉市情報コミュニケーション条例」「呉市手話言語条例」を制定

事業者は、すべての方が利用しやすいサービスの提供を行い、

働く環境について、必要かつ個別の状況に応じた必要な配慮をすることが求められています。

—これらの条例によってできること—

- ・障がい者の利用が見込まれる事業を行う事業者への補助金
- ・サービス提供店での筆談ボードの設置
- ・講演等での手話通訳者の配置



●合葬墓の整備完了

2024年、呉市初の 合葬式墓地の整備完了

合葬式墓地とは、

一つの大きなお墓に多くの方のご遺骨と一緒に収蔵 する墓地のこと。

個人でお墓を管理する必要がないため、

承継者を必要としない方、遠方の方や一人暮らしの方なども安心して
利用することができます

社会環境などの変化から、
市民のニーズに対応した事業です



●きめ細かい福祉の充実(重層的支援推進室の設置)

「高齢 / 障害 / 子ども / 生活困窮」など分野を超え、
既存の制度では対応しきれない課題に対応する
「重層的支援推進室」を市役所2階に設置(2022年)

▼重層的支援推進室(呉市役所 2階)
電話: 0823-25-5715
開設時間: 平日 8:30~17:15

誰もが安心して暮らせるまちづくり を目指し、
「断らない相談支援」を作って参ります。

＜主な支援内容＞

- ・包括的相談支援事業(断らない相談窓口)
- ・参加支援事業(孤立を防ぎ、地域との繋がりをつくる)
- ・地域づくり支援事業(支え合える地域をつくる)
- ・アウトリーチ事業(支援が必要な方のもとへ訪問支援)
- ・他機関協働事業(関係機関が連携して支援)

相談窓口が分からない場合も、
お話を伺い、必要に応じて
適切な支援機関と連携を
図ります！



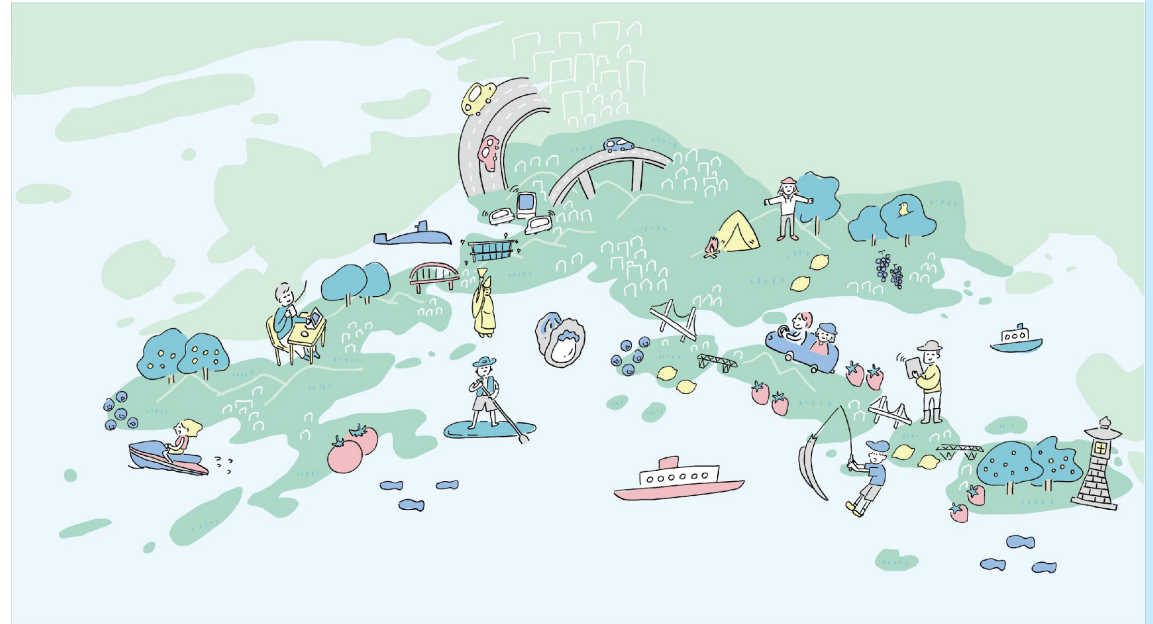
市民生活分野 今後の取り組み

■ 誰もが自分らしく暮らせるまちへ

- ・健康寿命の延伸に向けた、健康づくりやフレイル予防の推進
- ・すべての市民が住み慣れた地域で自分らしく社会とつながり、安心して暮らせるまちづくり

■ 文化・スポーツを通じて心豊かなまちへ

- ・アーバンスポーツと
インクルーシブスポーツの振興
- ・多目的グラウンドや陸上競技場など
スポーツ施設の再配置
- ・世界トップクラスの選手を育成
- ・青山クラブ、美術館をはじめとする
幸町エリアの再整備
- ・各地域の歴史や文化の掘り起こしと
次世代へ繋げる取り組み



メモ

産業分野

誰もがチャレンジできるまちの実現



産業分野でやったこと

■ 教育・研究

- ・ 2023年 呉市・広島大学 Town & Gown 構想を設置・推進
- ・大和ミュージアムの大規模リニューアル

■ 企業誘致・雇用環境

- ・ミットヨスポーツパーク郷原の産業団地への転換
- ・ラグジュアリークラス等のホテル誘致
- ・ラキール(IT企業)の誘致

■ 観光

- ・新たな観光推進組織「(一社)ツーリズムKURE」の運営開始
- ・豪華クルーズ船の誘致

■ 地域産業・チャレンジ環境

- ・リノベーションまちづくりの推進による空き店舗の再生



●呉市・広島大学 Town & Gown 構想の推進

Town(呉市)とGown(大学)が連携し、**世界に誇れるくれ**を目指す取り組み

- ・「広島大学 海洋・海事未来研究所」を **呉市に開設**
- ・**アジア初となる世界海事大学** を誘致
- ・呉市における海に関する歴史 / 文化 / 産業を活かした
「海洋文化都市くれ」の推進



この事業を推進するため、2025年7月に
「呉市・広島大学 Town&Gown Office」を呉市役所9 Fに設置。
Wi-Fiが利用可能なオープンスペースもあり、一般の方が使用する
コワーキングスペースとしても活用できます。
是非気軽にお立ち寄りください！



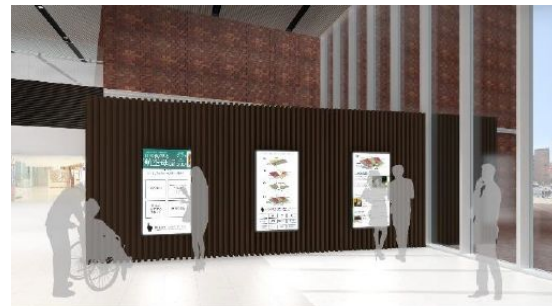
●大和ミュージアムの大規模リニューアル

大和ミュージアムでは、皆様に気持ちよくお越しいただけるよう、
展示品の入れ替えをはじめ、**館内導線の再検討** や、**ユニバーサルデザイン** の導入、
最新のデジタル技術を活用 できる環境に **リニューアル** しています。
このまま順調に進めば、予定どおり 2026年3月末までに工事が終了し、
同年**4月中に開館できる見込み** です。

さらに2025年5月、**イギリスの王立空軍博物館と連携** が決定
世界に誇れる博物館 を目指していきます。

また休館期間中は「ビューポートくれ」にて
期間限定サテライトの開設。

呉市全体を盛り上げる事業として、
「呉・大博覧会」を実施 しています。



●ミットヨスポーツパーク郷原の産業団地への転換

郷原に位置するミットヨスポーツパークに
半導体製造措置メーカーの「ディスコ」を誘致

これにより **2,000人以上の新たな雇用の創出** や **大きな経済効果** が見込まれ、
人口増加や産業の大きな発展となる。

ミットヨスポーツパーク郷原は四つの工業団地が集積する地域に位置しており
この特性をふまえて、土地を求める企業からの需要に応えた。

ミットヨスポーツパーク郷原にある各施設については、
より便利で充実した機能のある施設 になるよう、**移転・再配置を実施** 予定

●ラグジュアリークラス等のホテル誘致

地域経済の発展のため、ラグジュアリークラス等のホテルを呉市に誘致
地元の方に勤めていただきながら 地元根付いた運営 をします

▶シャトレゼ(グリーンピアせとうち)※ 2024年9月開業

グリーンピアせとうちの敷地等を

観光などの地域を盛り上げる拠点 として活用

安浦にシャトレゼガトーキングダムせとうちの開業

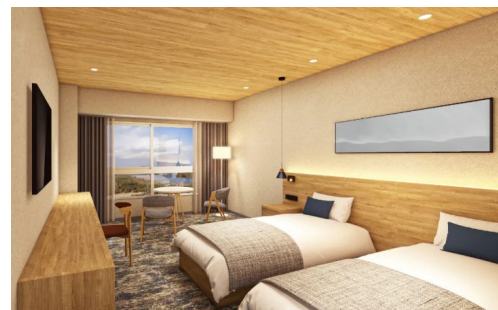
▶バンヤン・グループ(音戸の瀬戸公園)

世界中から多くの方が集まり、憩いの観光拠点 とするため

外資系ラグジュアリーホテル(バンヤン・グループ)の誘致や、

それと連携した飲食施設の整備等、公園全体のリニューアルに着手

※バンヤン・グループ:シンガポールを拠点とし世界各国でリゾートホテルを展開する企業



・ラキール(IT企業)の誘致

最先端のIT技術を持つ **株式会社ラキール** が
呉市にオフィスを開設する協定を締結

企業の進出というだけではなく、

- ・呉市の産業の発展
- ・市内企業の DX推進
- ・新たな雇用の創出
- ・地元大学等への IT教育等

呉市全体へ大きな好影響が期待されています！



●観光推進組織「(一社)ツーリズムKURE」の運営開始

2024年12月に呉観光ブランドをつくり、確立をするための組織

「一般社団法人 ツーリズム KURE」を設立

観光客の年間消費額を 800億円を目指し、市民、事業者、行政が連携し、
呉の人・文化・自然・農水産物などの 地域資源を最大限に活用 をしていきます。

市民が豊かで幸せに暮らし続けられるまちをビジョンに掲げ、

- ・データ活用
- ・プロモーション強化
- ・受入環境整備
- ・地域連携
- ・持続可能な観光地域づくり

など多面的な観光政策を進めていきます。



(一社)ツーリズムKUREのイメージ

●豪華クルーズ船の誘致

2023年より、フランスのポナン社が運営する **豪華クルーズ船を誘致**

国際クルーズ船に呉市に立ち寄ってもらうことによる、 **世界への呉市の魅力発信**、
単価の高い観光消費、また **呉市民のまちに対する誇りや愛着を高める効果** を期待

▶フランス・ポナン社「ル・ソレアル」

2023年4月21日・5月18日 御手洗・下蒲刈への寄港

2024年4月18日・10月6日 御手洗・下蒲刈への寄港

▶フランス・ポナン社「ル・ジャックカルティエ」

2024年4月2日・5月10日 御手洗・下蒲刈への寄港

2025年4月12日・4月24日 御手洗・下蒲刈への寄港



●「リノベーションまちづくり」の推進

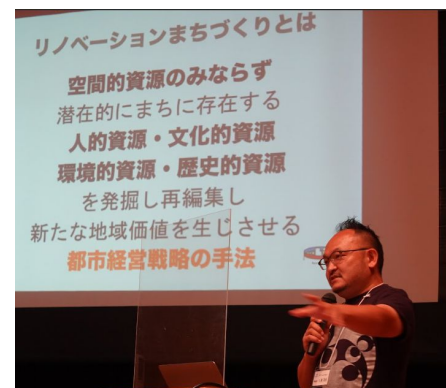
2019年より、今あるものを活かし、新たな使い方することでまちを変える
「リノベーションまちづくり」に取り組んでいます。

空き店舗や空きビルの再生・活用を通して地域課題を解決していくため
リノベーションスクール卒業生などが中心となり運営する
呉市版リノベーションスクール、通称「くるくるスクーレ」を開催 し、
まちづくりに携わる人材を育成 。

2025年度は地元企業のまちづくりへの参画を促すため、
企業版リノベーションスクールを開催します。

—主な実績—

- ・中央地区商店街等で **10件以上** のリノベーション事業化
- ・呉リノベーションまちづくり戦略会議の開催(5回開催)



産業分野 今後の取り組み

■ 新たな産業を創造できるまちへ

- ・ 世界最先端企業の立地を促進
- ・ チャレンジする人や企業を支援
- ・ 中小企業支援
- ・ 官民連携によるデジタル化の推進
- ・ 高い付加価値を生み出す農林水産業を育成
- ・ 県内初の RORO 船(貨物船)の定期航路運用により、物流を拡大



日本製鉄跡地に関する対応



● 日本製鉄跡地に関する 今後の展望

- ・多機能な複合防衛拠点の早期整備
- ・スタートアップ企業などの **新たな雇用** の創出
- ・**広域防衛機能** の整備
- ・スポーツ施設などの **市民利用の促進**

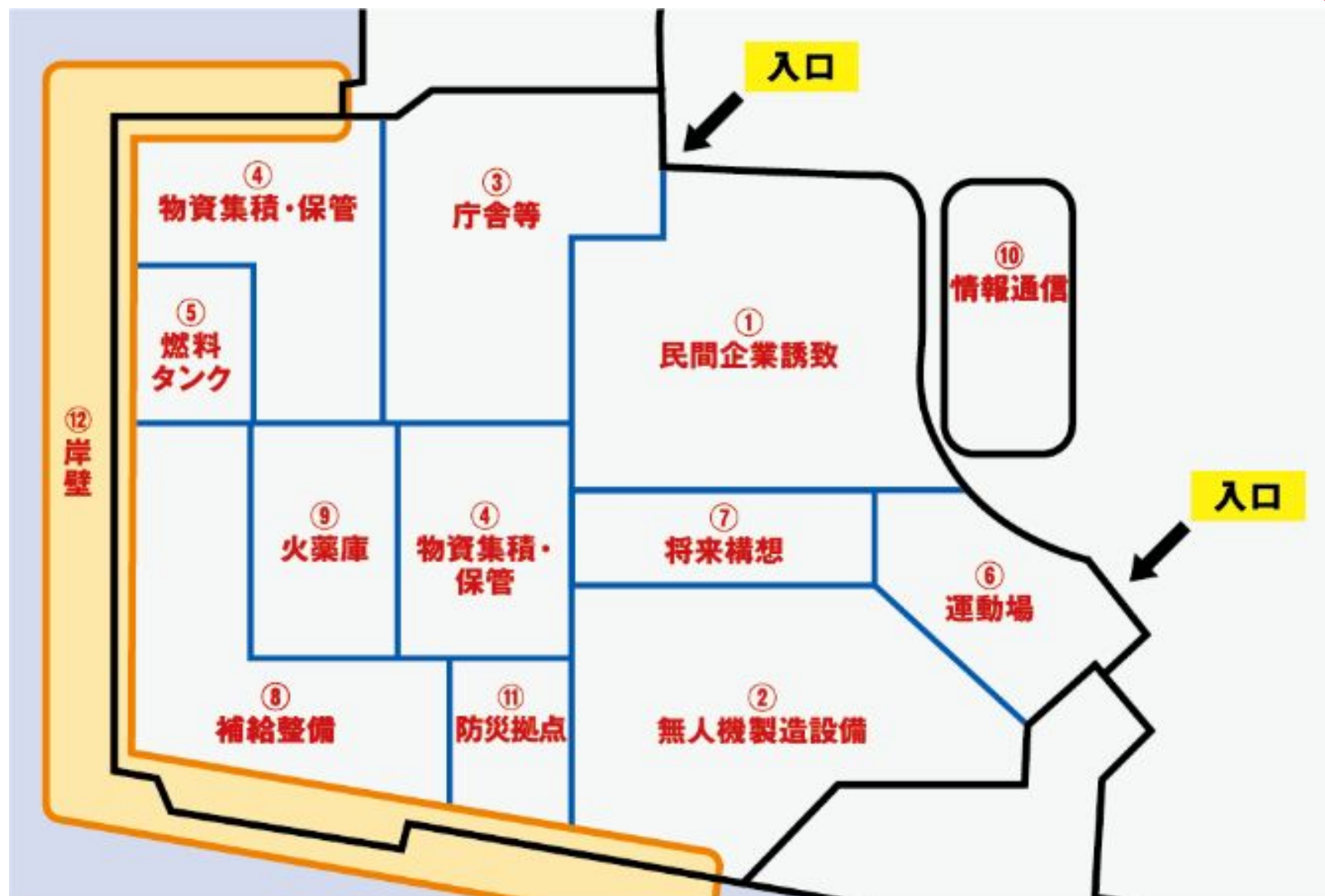
様々な
効果が！

最先端の産業が集うまちになることで、地元には様々なチャンスが！

多くのスタートアップ企業が集まり、新しい技術開発の拠点に

多くの挑戦する若者が、日本から世界から呉に集まってくる

● 日本製鉄跡地に関する 今後の展望



● 日本製鉄跡地に関する 新原よしあけの対応実績

2020
～
2023

閉鎖発表とほぼ同時の迅速な初動対応。雇用を支援し、地域に寄り添う体制を築く。

- ・閉鎖発表の3日後、国/県/呉市が連携し、「合同緊急対策本部」を設置
- ・市独自の補助事業「ビジネスモデル転換支援事業」実施 (186件/約9億円交付)
- ・閉鎖は約3,300人に影響し、県と連携して継続的な雇用対策を実施

2024

- ・防衛省が多機能な複合防衛拠点整備のため、跡地一括購入を交渉中と表明
- ・国・県・日鉄・呉市による第1回「4者協議会」を開催
- ・平行して、民間活用案についても、県・日鉄・呉市の3者で検討継続
- ・市議会議長と共に、安全性や地域に配慮した7項目の要望を防衛大臣に提出
- ・第2回「4者協議会」にて、防衛省がゾーニング案(中間報告)を提示

2025
～

- ・3月末、第3回「4者協議会」にてゾーニング最終案が提示
- ・4月市議会や住民説明会を開催し、5月には住民説明会での意見を踏まえ、防衛省案の受入れを正式に表明。市議会で大多数の賛同を得る。
- ・6月、市議会議長とともに、整備の早期実現を 求める要望書を防衛省に提出



呉の未来を止めるな!



見える、届く、新原よしあけ。

日々の想いや政策を、SNSでもお届けしています。
これからの呉を、私たちの暮らしを真剣に考えるきっかけとして、
是非ご覧ください。

Instagram

ID : @SHINHARA_OUENDAN



TikTok

@kureshi_shicho



LINE

ID : @895gfwif



Facebook



新原よしあけ後援会

TEL : (0823) 21-0122

FAX : (0823) 21-0133

Mail : mail@shinharayoshiake.net

■海岸事務所

〒737-0823 呉市海岸一丁目8-15



■呉中央事務所

〒737-0811 呉市西中央三丁目1-33



会報誌や入会申込書をお配りいただける方は、ぜひ後援会事務所までお申しつけください。

メモ
